

## 第2次総合計画の総括（案）に対する審議会委員からの意見

政 策	1-1 健康の増進と医療体制の充実
良かった点	<p>①ゲートキーパー養成講座を実施し、「気づき」が出来る人材を多くつくり、自殺死亡者を一人でもなくす取り組み。</p> <p>②村上市拠点病院としての「村上総合病院」が新築され、実働を開始したこと。</p> <p>③特定保健指導率が60%を上回っているのはすごいと思いました。が、根本的にこの指導を必要とする人が少なくなるようにするには、予防や定期健診の受診率を上げる努力が必要なのではと思いました。</p> <p>④人間ドックの国保加入者の費用一部助成制度の継続。人間ドック受診者の増加で受けやすい検診体制の工夫。</p>
改 善 点	<p>①高齢化進んでいる現状を考慮すると、後期高齢者医療被保険者一人当たりの医療費の伸び率についても、目標値を設定した方がいいのかもしれないと感じました。</p> <p>②時間外の急患の受け入れ態勢。</p> <p>③自殺死亡者が増えやすい御時世であり、閉鎖的になっている方へどのようにアプローチするのか。</p> <p>④山北地域の医療の拡充。</p> <p>⑤各科の医師・看護師を定着させるための支援を拡充する。</p> <p>⑥医学生資金貸与制度の外、看護学生の修学支援を行うこと。</p> <p>⑦「新型コロナウイルス」の村上市内発生状況と医療としての対応など、その中間総括と今後の対策を市民に明らかにすること。</p> <p>⑧がん検診や基本健診など様々な健診があると思うのですが、そのお知らせや手続きの書類がわかりづらいのではと思いました。ご近所の方の例ですが、色々な健診のお知らせが来るけれどみんな同じに見えてどれが何なのかわからなくなると。わからないと受けようという気にならないと。様式をそれぞれに変えるのは大変かと思いますが、紙の色を変える、何の健診なのかの表示を大きくわかりやすくする、封筒にも表示をするなどの工夫があると良いのではと思いました。</p> <p>⑨検診は、例え受診率が低くても、その対象疾病の有病率や受診状況がどのようなのかで、評価は一概には言えないこともあると考えます。なぜ検診受診率が低いのか、分析の必要は時代の背景からもあるようです。</p> <p>⑩市内に職場が無くて、市外の職域で利用していた人間ドックを、退職後も受診しているが、受診料負担に補助が貰える仕組みに該当していないことに不満に感じているとの事。多様な選択肢がある事は大事です。今後、住民として公平な助成をすることが必要でしょう。そして、受診行動を検診受診率の外部での受診として、市独自のデータとして活用することが出来ます。それにより、保健支援の対象者のフォローも、よりし易くなり、健康寿命延伸への支援活動に、役立つ基礎的なデータにもなると思います。</p>

改善点	<p>⑪何故、一人当たりの国保医療費が、県内でも高いのか、高齢者比率が同じくらいの県内自治体では、どのようなか比較しているのでしょうか。そのようなほかの自治体との改善策を調べて参考にしてみることも意味があるのではないのでしょうか。</p> <p>⑫高額医療費が多いのか。後発医薬品利用の状況はどうか。その利用が適用しない疾病が多いのか。多受診が多いのか。等、分析がなされていると思いますが、担当のコメントからは見えません。目標値の達成度に対応した評価コメントを記入して頂きたいです。データの分析が不明なので、評価し難いです。</p> <p>⑬自殺死亡率が「達成」と表記されるのは、一見困惑します。目標値に対してという事は、理解しますが、項目の表記を「自殺死亡率の減少」とでもしてはどうでしょうか。自殺者が身近にいる方が見たら、どのような感じを受けるかと思いましたので。また、ゲートキーパー養成講座の開設がどのような成果に結びついたのか判断するような目標の設定の方が、自殺死亡率よりも、施策の評価としては、意味があると思います。</p>
-----	---

政策	1-2	子育て環境の充実
良かった点	<p>①病児保育施設の拡充。</p> <p>②不妊治療費の助成に力を入れていること。</p>	
改善点	<p>①時間外の小児の怪我等の対応がとても悪いように感じる。医療が手薄になると、子育てへの不安にもつながる。</p> <p>②発達障害小児専門医師を増やしてほしい。</p> <p>③流産・死産の繰り返しの家族は、精神的にも苦しんでいると思うので、是非、不妊治療同様の支援頂けると思う。</p> <p>④コロナ不安に因る年間出生数は、更に減少すると思われる。迷える家族を、しっかり支えて頂きたい。</p> <p>⑤目標値として子育て支援センター利用者数があり、実績値が減少して未達成となっているが、コロナの影響やそもそも子どもの人口自体、減少しているとするれば利用者数を目標値にするのはおかしいのではないか。さらに、未就園児がいても、兄弟が小学生等の場合、一緒に利用できないという実態もある。小学生と未就園児と一緒に遊べる場を考えることが必要だと思う。</p> <p>⑥子育て中は野外で遊べる施設（公園）を望んでいます。例えば、河川の整備で三面川河川敷の整備を進め、若者からどなたからも利用（交流）できる「いい場」につながるもの（公園）が必要かと思っています。</p>	

政策	1-3	高齢者の健康と安心な暮らしづくり
良かった点	<p>①様々な助成・公的支援により、元気な高齢者が増えたこと。</p> <p>②介護人材確保に力を注いでいる。</p> <p>③互近所ささえ～る隊の活動内容がどんなものかわからないのですが、名前を見る限りすごく良い活動なのかと思いました。</p> <p>④重要度も満足度も高く強みとして強化すべき事項に該当する。大学でも生活支援の拠点づくりとして、各種の高齢者向け健康教室（現在コロナの影響で中止）を開催したり、今年度より履修証明プログラムとしてまとまった知識の得られる講座を開講している。</p>	

改善点	<p>❶「老人クラブ」会員の減少はその名称が一因だと思う。60歳で入会する人、60歳台で入会する人も少ない。支援する市としても、助言して頂きたい。</p> <p>❷互近所ささえ～る隊の隊員のみならずみんなが互いに支える意識が広がっていくと良いと思います。その為にもささえ～る隊の活動を頻繁に目にできるような広報や、大々的なものだけでなく、ちょっとしたことでも紹介できる場所があると良いと思いました。</p> <p>❸お年寄りが集まる場所が減少しないように集落単位や小さな規模での活動拠点も必要かと思います。私が活動している集落では4月から「朝活体操」と称して平日の午前20分程度みんなで集まって体操しよう！という企画があったのです。感染症リスクが理由で開始時期が無期延期になっていますが今後改めて実施する予定です。これを企画したのが60～70才位の元気な方々（茶の間）なのですが、その下の年代に茶の間を引き継ぐための世代交代がうまくいかないと悩んでいます。より一層世代を超えた交流と互いを支える意識が重要になってくると思いました。</p> <p>❹「仲間や生きがいがづくりを進め一定の成果は得られたが、活動者数等が減少傾向にある」とのこと。そもそも高齢者にとって生きがいは何か、本当に仲間を求めているのか、というところから考える必要がある。本学では村上市の55歳から75歳までを対象とした「生活充実感に影響を及ぼす要因と健康関連要因」について調査し、論文にして発表している。その中で、本地域の高齢者は仲間など周囲との交流よりも、自分のペースで平穏な安定した生活を望む傾向にあることが明らかになった。また、本学の学生は入学時県内出身者が約7割であるが、卒業時に県内に就職する者は約5割に減る。魅力ある就職先があると、より地域の高齢者の健康と安心な暮らしづくりに貢献できると考える。</p> <p>❺互近所ささえ～る隊による活動が主な実施事業にあるが、5地区で取組をしている中で「地域包括ケアシステム」に対する理解が共有されていない。高齢者の支援も必要であるが、それ以上に高齢者の社会参加が必要で、市全体で高齢者の出番づくりを考えていくことが大切だと思う。支えてもらうだけでなく、自らも支えてあげる場を作ることが高齢者の健康につながると思う。目標値に、そのような項目があってもよいと思う。</p>
-----	--

政 策	1-4	障がい者福祉の推進と自立支援体制づくり
良かった点	❶障がい者の方々への支援が確実に前進している点。	
改善点	<p>❶法人後見事業について、親無き子が利用するにあたり、周囲がこの制度を認識していない為に差別を受けることがあってはいけない。それを回避する為にも、もっと制度をわかりやすく理解してもらう事が大事なのではないかと思います。</p> <p>❷高校時代、水泳部だったので、依頼されて重篤な障がい者の人達を海水浴に連れて行った経験があります。一人の男性（同年代）に3人ついて、ゆっくりと波に浮かべてあげました。不自由な手足をバチャバチャさせて、とても悦んでニコリと微笑んでくれました。その時の笑顔を今、思い出しました。実際に行動する。自らの手で確かめる、それが重要だと思います。</p> <p>❸障がい者の放課後活動が大きな課題である。スポーツ施策なのか、教育施策なのかかわからないが。就労以前に在校中の放課後活動の場がないこと、卒業後の活動の場がないことが、社会参加につながっていない。</p>	

政 策	1-5	総合的な福祉の推進
良かった点	①村上市の生活保護世帯は約 600 世帯と聞いていますが、多い少ないはともかく、きちんと保護されていることに安心感を覚えます。	
改 善 点	<p>①改善点ではないですが、生活保護から自立した世帯数について目標値を設定してしまうことで、目標値を達成しようという意識が職員の方に働いてしまわないか心配になりました。</p> <p>②近隣住民や保護者間の面識は、児童虐待の予防や早期発見にとっても重要だと思うが、現状はどうなのか。どこからが虐待にあたるのか、発見時どのように対応すべきか周知徹底が必要だと思う。</p> <p>③村上市にも、「フードバンク山北」「フードバンク村上」が発足しました。市の協力も得て、困っている方々に食品提供を毎月一回行える状況になっています。今後も市民の皆さんの力添えと、市の一層の下支えをお願いします。</p>	

政 策	2-1	環境の保全と新エネルギーの推進
良かった点	①風力発電の設置による村上地域の鮭漁及び海上の景観が不安のポイントになっていたが、それは避けられる状況になったようなので安堵しました。	
改 善 点	<p>①環境に関しては、地球温暖化の急進により、「2030 年の岐路」が叫ばれている。コロナ禍による世界的なパンデミックは現在も続いている。何とか「オリンピック・パラリンピック」を無事に終えて、環境問題を深刻な問題として市民と共に考えて欲しい。</p> <p>②個別政策に対して 2-1 環境の保全と新エネルギーの推進で洋上風力発電について一言も触れていないのは不自然ではないか。</p> <p>③木質バイオマスストーブの設置費補助金の交付について、木質バイオマスペレットを作る過程で大量の二酸化炭素が排出されると聞いております。環境を考える上で、本当に良いのか疑問です。</p>	

政 策	2-2	生活衛生の向上と公害の防止
良かった点	<p>①家庭ゴミと事業系のゴミ、リサイクル率、なかなか解決できない深刻な問題だと云うことが解ったこと。</p> <p>②焼却灰再資源化の内容には興味があります。</p>	
改 善 点	<p>①不法投棄の根絶に力を入れて頂きたい。投棄された物の処理も投棄者を特定できない場合は、回収せざるを得ないのではないかと。地域住民の協力を得て、機械を導入して実施すべきかと思う。</p> <p>②村上市に移住してゴミの分別が曖昧だなと感じました。ゴミカレンダーの表示にはしっかり分別の仕方が表示されているものの、それをきっちり実践できていないかなど。特にきちんと処理すればリサイクルできるプラごみや紙が燃やすごみと同様に捨てられていることが多く見られます。きちんと分別しないと回収してもらえない地域に住んでいたのととてもビックリしました。意識を変えるのは本当に大変なことです。やっていかなければならない課題ではないでしょうか。</p>	

改善点	③長年生きてきた大人の意識を変えるのは難儀ですが、子供達に正しい分別の仕方を植え付けるのはできると思います。小・中・高でのゴミの分別や脱プラ、世界環境の状況を勉強する機会を増やして子供たちから親世代、またその上の世代にまで伝えてもらって大人の意識を少しずつ変えていけると良いと思います。子供に教えられることで大人も素直に受け入れられるのではないのでしょうか。
-----	---

政策	2-3 適正な生活排水の処理推進
良かった点	①浸水被害の解消が実現したのは良いこと（烏川）。
改善点	①下水道処理区域が拡大しても、水洗化率が未達成というのは残念である。助成があっても資金がない方々もいる。しかし、清潔な生活には水洗化は重要なので、更なる施策を考えて下さい。

政策	2-4 水道水の安定的な供給
良かった点	①南大平・指合・河内地区の簡易水道を平成 29 年度に上水道に統合したこと。
改善点	

政策	2-5 河川・排水路の整備
良かった点	①河川・排水路の整備は、災害が拡大する傾向にあるため、大変な事業だと思う。
改善点	

政策	2-6 港の整備と賑わいづくり
良かった点	①岩船港で行われた「ドライブインシアター」を SNS で投稿したところ、他市町村の方からとても好評でした。コロナ禍を利用しての、新しい取り組みがとても新鮮で良かった。
改善点	①市外からも多くの釣り人が岩船港を利用しているからこそ、そこでの PR の仕方はとても重要かと。

政策	2-7 地域の暮らしと活性化を担う道づくり
良かった点	
改善点	①通学途中の悲惨な事故が絶えません。車道と歩道の上にガードレールなど積極的に設置して下さい。「歩行者は優先ではない、最優先です」

政 策	2-8 生活交通の確保・充実
良かった点	<p>❶生活交通の持続可能なモデルを実現するために、様々なアイデアがあることを知り得たこと。</p> <p>❷中山間地の公共交通とは全く無縁であった集落。若いときは、自家用車で自由に目的を達していたが、免許証返納のお声がかかる高齢者にとっては、家に閉じ込められたも同様である。頼りになる子供もいなくなれば、深刻な問題である。そのことを知ってもらえたこと。</p> <p>❸村上総合病院の移転に伴う運行ルートの変更が時差なくスムーズに行われていたのでとても良いと思いました。車を購入するまでの数か月まちなか循環バスに大変お世話になりました。</p>
改善点	<p>❶村上総合病院移転したにも関わらず、なぜ駅裏口は出来ないのか。観光客が温泉へ行く利便性を考えても裏口は必要なのではないか。</p> <p>❷商業施設、病院、学校への交通手段を公共交通機関に切り替える為にもバスの本数増、環境に配慮した車両への切り替えはどうか。</p> <p>❸「家から家は、家から街へ」自家用車のように気軽に低料金で自由に利用できる「デマンドタクシー」の実現は難しいと聞いているが、諦めずに課題に挑戦して欲しい。市・路線・郊外バス会社、タクシー会社が持続的な会合を開いて時間を掛けて話し合えば、道は開けると思う。市所有のマイクロバス等を使用して学生さんたちの通学に使うとか、色々な可能性を集めて、「デマンドタクシー」の未来を切り開いて頂きたい。</p> <p>❹循環バスに乗る度に思っていたのですがどうしてこんなに便利なバスなのに利用客が少ないのだろうと。いつも乗っている人は2～3人、時には自分ひとりだったり、歩いている時に見かけるバスには誰も乗っていないことが多く、どうしてなのでしょう。</p> <p>❺ここに記入するのは違うかもですが、高齢者の運転免許証の返納者の特典が温泉施設利用無料だけでは不十分ではないでしょうか。そもそも移動手段がなければ温泉施設には行けません。免許証を返納して困るのは移動手段がなくなることなので、年間いくらかのタクシー券や循環バスの回数券等を配布することで困ることが軽減できると思います。返納しても困るだけでは自主的に返納しようと思う人は増えないと思います。</p> <p>❻交通手段のない高齢者が増えている状況で公共交通の利用者が減少しているのは、利用者のニーズに対応していないからだと思う。利用したくても時間が合わない、利用場所まで行く手段がないなど課題は多い。ニーズ調査とそれに対応した公共交通が望まれていると思う。</p>

政 策	2-9 市街地と景観の整備・保全
良かった点	<p>❶村上らしさを強調することが、市のこだわりであることを実感したこと。</p>
改善点	<p>❶村上にはまだまだ未知の景観があると思う。歴史の中に埋もれてしまった、わずかな痕跡を残す遺構。人知れず咲き誇る桜とか。当たり前なもの、見過ごしていた日常の風景が実は旅人にとって新鮮なものであるということは、良く言われることです。一人ひとりの市民が「村上再発見」の心の小さな旅をすれば、色んな情報が集まり、上手く行けば、観光客にも喜ばれるかもです。道路の無電柱化は是非、進めて頂きたい。</p> <p>❷まち並み整備の一環として、道路の無電柱化も必要かと思っています。(まち巡り等で訪れた際、交通の危険性が考えられるため)</p>

政 策	2-10	良好な住環境の整備
良かった点	<p>①空き家バンクについては何度か閲覧したことがありますが、写真も多く、情報も豊富で参考になりました。</p> <p>②木造住宅の耐震診断は補助制度により一定の成果は出たが、耐震改修工事にまでは余り結び付いていないことを知り得たこと。</p>	
改善点	<p>①空き家バンクの物件情報について、地図と物件情報が同じページに記載されている方が、一覧性があると思います。また、空き家対策としては、空家等対策の推進に関する特別措置法第7条に基づく協議会の設置も視野に入れて対策を進めてもいいかもしれません。</p> <p>②自宅の近くで気軽に遊ばせられる公園が少ない。年代問わず利用できる公園をつくる事で、近隣住民同士がコミュニケーションをとりやすくなるのではないかと。</p> <p>③空家は不審者の侵入、放火などに結びつくため、放置することはできない。</p> <p>④土地・建物所有者を確定、所在確認をして、義務の遂行を促し、空家バンクに登録してもらう等の積極的な方策を更に推し進めてもらいたい。</p>	

政 策	3-1	経営の安定化と魅力ある農業づくり
良かった点	<p>①新規就農者数はほぼ目標達成しており、評価できる。</p> <p>②農業従事者の高齢化により、加えて若者の農業離れにより、委託農家が増加し、多くを受託した中高年農業従事者が大型機械を使用し耕作を引き受けている。そんな現状を再確認できました。</p> <p>③市内飲食事業者がフードマイレージを意識して食材を選ぶことにより村上産農産物の価値があがると思います。ここでしか味わえないものがあることで国内外の観光客誘致に大きな力になるのではと思います。</p> <p>④先日発売された、村上桜ヶ丘高校・村上市茶業組合・市内製菓店が協力して出来上がった商品は素晴らしかった。特に高校生が絡んでいるというのがものすごく良いと思いました。郷育にもつながって素晴らしい企画だと思いました。</p>	
改善点	<p>①食の村上ブランドの推進として、村上牛出荷頭数の未達成は課題。</p> <p>②村上牛の出荷頭数安定のためにはJ Aとの役割分担や流通ルートなど取り組む課題の整理が必要。</p> <p>③将来は、地域をまたぐ形で会社形態を取り、大規模な農業となるのではないかと。AI技術を駆使した、今でも試行されている無人化農業が主流になると思います。それに対応できる農業政策を準備・実践して行くべきだと思います。</p> <p>④長く「電気柵」で対応して来た畑作ですが、猿も学び、電気柵の効果は著しく低下しています。「柵の中に柵を作る」それが現実です。そして、いよいよイノシシが。</p>	

政 策	3-2	森林資源の保全と有効活用の推進
良かった点	<p>①森林資源の保全・活用に意欲があることを感じ取れた。</p>	

改善点	<p>①中高生を対象とした、新規就労を見据えた取組を是非実施して欲しい。若年層の地元離れを回避し、移住者の就労斡旋にもつながる事が出来るのではないかな。</p> <p>②木材価格が高騰している今だからこそ、個人でも買い求めやすい形状・価格で提供できるよう何か策が必要なのではないのでしょうか。</p> <p>③戦後、焼け野原になった都市部の建築木材の需要を支えるため国の指示で雑木林を切り開き杉を植え続けた。しかし安くて良質な外材の流入によって、国産杉材の価格は低迷、集落を取り巻く杉林は間伐・枝打ちも行われず、常緑の闇と化している。岩船東部線の開設に林業の再興を託す以外にない。</p> <p>④森林整備により「森林浴」を楽しめる道路づくり（遊歩道）。（山居山等を活用した、若者を中心として道路づくり（ボランティアで自分たちでつくることを大切に））</p>
-----	---

政策	3-3 水産業の活性化と消費拡大の推進
良かった点	①村上と云えば、三面・荒川の鮭。北の海から帰ってくる鮭の群れ。笹川流れ沖辺りの脂ののった鮭も良い。鮎も良い、多くの釣人で賑わう三面・荒川の夏風景。思い出しました。
改善点	①一昔前は、笹川流れで楽しむ程度に自由に海にもぐってカキ獲りが出来た。その後、ウェットスーツを着て乱獲する人々が出現して全面禁止になってしまった。自分で獲ったあの大きなカキを頬張る楽しさを少年や青年に味わって欲しい。安全に配慮して「カキを食うイベント」を開催して、魚や海と親しんで欲しい。

政策	3-4 商工業の活性化と市街地の賑わいづくり
良かった点	<p>①創業件数、空き店舗を活用した創業者数、新規企業立地件数、設備投資件数の数値目標は達成しており、評価できる。</p> <p>②人口減少・コロナ禍の下で、あらゆる商工業が苦闘・苦悩していることを感じ取ることが出来ました。</p> <p>③商工業の活性化と市街地の賑わいづくりは、重要度70%と高く関心が高い。</p> <p>④市補助制度を活用し空き店舗を使った創業者数が目標よりも大幅に上回っている点が良いと思いました。</p>
改善点	<p>①町屋区域内では、歴史的風致維持向上計画との連携による推進を図ることも必要ではないか。</p> <p>②伝統工芸品としては、「村上堆朱」に興味があります。伝統的なものの他、現代にマッチした作品など、若い職人さん達が工夫して堆朱に取り組んでいます。</p> <p>③その工程の根気のいる状況を見れば、それなりに高額にならざるを得ないことは分かりますが、飾り物としてではなく、日常に使える物を主体にして、とにかく使ってもらい、その良さを実感してもらえれば、高額なものにも目が行くと思うのです。自然体で一切手を抜かず、より良い物を提供し続けられれば、ネット社会にも通用するはず。</p>



政 策	3-5 観光誘客活動の展開とおもてなしの環境づくり
良かった点	<p>①村上市観光情報総合サイトは、とてもよくできていると思います。</p> <p>②コロナ禍の直撃を受けた観光関係の人々の苦痛を数字上だけでも感じることができました。</p> <p>③ふるさと納税返礼品による物産振興は良いと思いました。第一回会議でいただいた村上の水「月光の雫」をSNSにアップしたところ、反響がありまして今後オンラインで販売してほしいとのご意見がありました。デザインが素晴らしく7年間保存可能ということも大きなポイントだと思います。ふるさと納税の返礼品としてだけでなく普通にオンラインで購入できると良いと思いました。</p> <p>④SNSによる観光プロモーションなど広報活動は実施されていたと思う。</p>
改善点	<p>①村上市は観光資源も分散しているため、市内の観光スポットをめぐるには自動車での移動が必要になると思います。公共交通機関を利用して村上に来た観光客にとっては、移動に不便を感じると思うので、他県・他国からの観光客の増加を目指すのであれば、移動の不便を解消する対策が必要になると思います。</p> <p>②コロナ禍が収束した際に、また海外来訪者向けPRを再開したら良いと思う。</p> <p>③村上市の観光地は数々あると思いますが、観光・宿泊・飲食の導線化をすることで、観光しやすさ、又、新たな観光地開拓につながるのではないかと。</p> <p>④コロナ禍は、「アフターコロナ」を考えるほど甘いものではないと思っています。強力なコロナウイルスに対する本能的な感覚だと思います。</p> <p>⑤折を見て、瀬波温泉に宿泊する、一人ひとりが協力すれば少しは力になると思います。市としても継続して支援を続けて下さい。</p> <p>⑥観光事業について、多様な分野との連携が必要ではないかと。類似分野での展開には限界があり、もっと斬新な組合せもあるのではないかと。</p>

政 策	3-6 就労環境の整備と雇用機会の充実
良かった点	<p>①就労環境の整備として、ハッピーパートナー企業登録増加は評価できる。</p> <p>②高校生対象の就職面接会・バスツアー・インターンシップの実施。学生時代に様々な仕事があることや多種多様な職業体験をすることによって、将来自分が何をしたいのかの選択肢が広がると思います。特に実際に職業体験をすることが大切な気がします。中学・高校で様々な職業体験をしたかったなと思います。自分の時代には職業体験がなかったので。</p>
改善点	<p>①仮に就職率が達成しても、就職数が伸びなければ、U I J ターンの施策と連動して検討すべきではないかと。</p> <p>②高校卒業生の地元就職率は下降線を画している。若い力の流出は止め難い。長男だから地元で止まる、長男だから村上に戻る（或いは長女だから）。そんな傾向を感じてしまう。コロナ事情で変化があるかも知れない。</p> <p>③労働環境の改善はその場凌ぎではなく経営者の積極的な理念から発出されたものでなければならない。その辺をしっかりと見極めて欲しい。</p>

政 策	4-2	防災体制の充実
良かった点	①避難所に WI-FI やソーラーライトの設置。避難所という誰もが不安になる場所でのネット回線の充実や照明が整備されているということは非常に良いと思いました。	
改善点	①避難所に安定した電源の確保や共有できる端末の設置も必要と感じました。 ②避難所へのWi Fi の設置状況については、避難所数に対する設置数を数値化し、整備状況を把握しておく必要があると思う。	

政 策	4-3	防犯体制の充実と交通安全対策の推進
良かった点	①刑法犯の発生件数が減少していること。最近では地方でも凶悪犯罪が発生しているので、油断はできない。	
改善点	①飲酒運転の厳罰化が確立しているにも拘わらず、飲酒に因る重大事故発生が後を絶たない。心理面も含めて研究して頂きたい。	

政 策	5-1	“郷育”の推進と学習環境の整備
良かった点		
改善点	①郷育会議としての取組がなくなり、「郷育」への関心が薄まったように感じる。今後、学校と地域のつながりは不可欠であり、再度「郷育」を表に出し、多様な取組をしていくことが必要では。	

政 策	5-2	生涯を通じた学習の推進
良かった点	①高齢者が学習活動の支援に参画する。高齢者の方の生きがいを見つけられるきっかけにもなるのではないのでしょうか。逆に学生から高齢者へのデジタル教室などもあると良いと思いました。	
改善点	①主な実施事業について、放課後子ども教室の実施とあるが、放課後子ども教室に限定せず、今、地域でどんな放課後空間があるのか調査をし、広い意味での「放課後」を推進すべき。以前にもこのような発言をさせていただいたと記憶しているが変わっていないのは残念。	

政 策	5-4	生涯スポーツと競技スポーツの推進
良かった点	①「生涯スポーツ」この考え方は前向きであり、納得できます。 ②総合型クラブとして、子どもから高齢者までのスポーツ環境を作り、取り組んでこられたこと。	
改善点	①平野選手の冬季・夏季オリンピックへの登場とその実力は目を見張るものがあり、どんな活躍をするのか、村上市民全員が期待していると思います。特に子供達は「村上市スケートパーク」で楽しく遊ぶことを希望しているのではと思います。コロナ禍で経営も大変でしょうが、今まで以上に、子供達にアピール	

改善点	<p>し、「夢のパーク」を作り上げて下さい。</p> <p>②スケートボード以外のニュースポーツの体験できる施設整備とそれを体験する体制整備。スケートボードで使うランプやボックス・パイプはインラインスケートやBMXでも使えるので、スケートボードだけでなく他の種目にも開放してほしいです。ちなみに私はインラインスケートをやっていました。またやりたいです。</p> <p>③「学校部活動の改革」の方針が国から出され、今後、学校部活動から地域部活動へと移行することが想定される。しかし、学校教育分野と社会体育分野の連携がなされていない。地域部活動を展開していくことは、生涯スポーツと競技スポーツの両方につながるものと思う。</p> <p>④スケートパークが建設され、スケートパークの聖地として展開していくのであれば、学校と連携し、学校授業での活用も考えていくべきである。</p> <p>⑤体育施設が老朽化してきており、今後の施設の統廃合も含めて考えていかなければならない。</p>
-----	---

政 策	6-1	平等社会と多文化共生の推進
良かった点	<p>①人権教育・啓発活動を積極的に推進しているのは素晴らしいことだと思います。</p> <p>②人権尊重は当たり前なことと置いていたので、余り深く考えたことはありません。この機会にじっくり考えてみたいと思います。</p>	
改善点	<p>①就労政策にも関わりますが、男女の固定的な性別役割分担意識が根強く残っているとのことです。セクハラ問題についても研修会を実施するなど、何らかの対策をした方がいいと思います。</p> <p>②人権や差別問題に若年層が反応しないのは、ゆゆしいことだと思います。高校を卒業して、大学進学・就職等で村上を離れる女性が男性よりも多いという現実。男女差別の問題が根底になれば良いのですが。城下町という歴史的な重苦しさは関係していないとは思いますが。</p> <p>③「各種委員の女性登用数」が「未達成」です。これは、財政的な負担が増えるわけではない目標です。どの委員会が、女性委員が少ないのか、その理由の分析はなされているのか、点検が必要です。そして、改選の時期が明確なので、どの改選時期までに、どのようにして、何パーセントを最低でも登用する、というような目標を立てて計画を立てることで、目標に近づけることは出来ると思います。</p> <p>④各種団体等の組織内の女性登用が少ないとしたら、市が率先して、公募の際に男女の構成比が、半々に近づくように、選出する姿勢を示すか否かで解決する面もあると考えます。</p>	

政 策	6-2	市民協働のまちづくりの推進
良かった点		
改善点	<p>①まちづくり協議会の、次なる取組が必要ではないか。インナーとしての取組のみならず、アウトターの取組も必要で今後、さらに発展した多様な分野で構成する民間組織が必要ではないか。</p>	

政 策	6-3	広報広聴事業の推進
良かった点	<p>①市長とのふれあいトークなどは、住民は市政への関心を高めて自治意識を育み、執行部の市長も責務遂行決意を確認する、そうした機会になるためにも、(今年度は感染症対応に追われて難しかったようですが) これからも継続は大切かと思えます。</p>	
改善点	<p>①まちづくりや何かを変えたい、こんなものがあつたらという考えがあつた時に、どこの誰に言ったらよいかわからないという現状があると思います。特に何かを変えたいと思う時には自分ひとりが言ってもどうにもならないというような感じを持つ人も少なくないと思います。そんな意見や要望を誰でも意思表示できて、それが行政にきちんと伝わり、多数の同意見・必要案件ならば政策に反映するというシステムが必要かと思えます。台湾のデジタル担当大臣オードリー・タンさんの書籍にヒントがあると思いました。</p> <p>②市主催の催事の来場を増やすためには、今後選択肢の多様化という改善が必要と思えます。例えば、今後も懸念される新興感染症はそのリスクを回避する必要が生じた場合や、高齢者が中心の生活圏が多い当市においては、大勢を集める形ではなく、少数者の処に出向く形での対応も組み入れることが、施策によってはより必要になると考えます。そのためには、支所の機能をより一層、総合的な窓口として、高める事が期待されると思えます。そのための一助となるようにオンライン化の利点が活かされることは、望ましい事と考えます。公務員の削減の目的だけではない、情報通信機能の活用という事を大事にしてほしいです。</p>	

政 策	6-4	ICT・情報化の整備推進
良かった点		
改善点	<p>①通信設備・放送設備の更新に関しては、早急に更新が必要なもの(例えば機器・設備については補修部品の(メーカーでの)保有期限が切れた設備は補修が困難(または不可能))を把握した上で目標値を設定した方が、整備の推進には有益かと思う。</p>	

政 策	6-5	行財政改革の推進
良かった点	<p>①コンビニ収納・スマートフォン収納の導入、本当に助かっています。今後も増やしていただきたいです。そしてデジタルに慣れていない方でも同じように使えるように支援が必要と思えます。</p> <p>②これだけの一覧を見ても市政の係る仕事の膨大さを感じますので、その中で、少しでも改善がはかられていることがあるのは、市民としては感謝します。</p>	
改善点	<p>①目まぐるしく変化する社会情勢に対応する人材のスキルアップが必要。さらには、行政とパートナーという立場での民間組織が多様な住民サービスを行っていくことも考えられる。</p> <p>②指定管理者制度についても、現状では受託者のモチベーションアップにはつながっていない。もっと頑張った分の対価が返ってくるような制度でなければならないと思う。</p> <p>③評価を目標数値化してみようという事も見える化の手法として今後も工夫をしてほしい事と思えました。</p>	

改善点	<p>④財政が大きく関与しなくても、解決するような施策を、まずは計画通りに推し進めることが出来ているのか、確実に検証してみる必要があると考えます。</p> <p>⑤市民アンケートの項目のカッコの中にいくつかの要素が入っています。そのため、各回答が、一体どの要素について「満足度・重要度を評価」して、答えているのかが不明確です。という事で、記載されている評価を基にみているだけでは、施策の効果について、実情が的確に把握できているのかと疑問に思いました。知りたい事が何なのかが曖昧ですと、アンケート結果から具体的な施策は作りにくいと思います。</p>
-----	---

#### ◇その他（アンケート分析・目標値について）

①	<p>満足度と重要度の分布について、アンケート結果の割合と分布の図が合致していないように思える。満足度が20%から29%の間で「高い」としている政策と「低い」としている政策があり、重要度では66%前後で同様となっております。せっかく「見える化」するのであれば満足度は25%とか30%で線引きして「高低」の分布を反映したほうが良いのではないかと。合致しなくとも「分布」が正当ならばその説明が必要ではないかと。</p>
②	<p>アンケート結果における重要度と満足度の分布のグラフについて、4つの象限に振り分ける基準の数値が示されておらず、何パーセント以上だと満足度、重要度が高い象限に入るのかわからない。象限の振り分け基準の明示及びその根拠の提示が必要と考える。また、たとえば、政策 No. 1-2 の満足度は29.8%で満足度は低いに分類されており、政策 No. 2-6 の満足度は21.9%で満足度は高いに分類されているので、分類について再考の必要があると考える。ついでに、資料4 附属資料2の①②③④についても、通例の象限図の表示通り、①と②の位置を逆にした方がよい。</p>
③	<p>知りたいことが何なのかが、曖昧ですと、アンケート結果から具体的な施策は作りにくいと思います。例えば、市民アンケートの16頁、年代別の「3、女性や高齢者が活躍する場を増やす」の回答に関する事でs。このアンケートの回答者の年代別比率は、高齢者と若い世代の人口の母集団が違うでしょうから、集団に対して、回答者はどのくらいの割合を占めているのかが知りたいです。それが分からないため、次のような事が疑問です。一つは、若い世代は、その人口の母集団から見ると、回答者の実数は少ないのではないのでしょうか。母集団に照らしてみると、この若い世代、18～39歳代の女性は、活動の場を増やしたいと考えている人は、少ないのかもしれない。さらに、アンケート16頁の下段の60～69歳では、「活動する場を増やしたい」が5割近くです。高齢者で被雇用形態から退職した人が多くなる世代では、まだまだ活動の場を増やしたいと思っているのかもしれない。でも、この結果だけでは、そのことが見えません。このように、何を把握したら施策に生かせるのかの検討がより丁寧に必要なかと考えます。</p>
④	<p>アンケート結果を満足度・重要度によりPPM分析のような形でお示しいただいているが、高低の評価（区分）の基準がわかりにくい。たとえば、政策2-2と3-1は重要度の数値が同じだが、評価は分かれている。また、5-2、6-2など満足度が20%程度の項目を満足度が高いと評価してよいか。</p>
⑤	<p>目標値と満足度の結果が連動していないので、目標値の立て方自体についても検討が必要と考える。たとえば、政策No. 1-4、3-4は目標は達成しているが満足度は低い、2-2、2-5は未達成だが満足度は高いなどからすると、市民の意識と目標の立て方にズレがあるのかもしれない。</p>